

2014 研修分科会

私立大学図書館協会東地区部会研究部

第6回

開催: 2014年12月11日(木)

時間: 13時～17時

会場: 明治大学 (和泉キャンパス) 和泉図書館

テーマ: RDAとは何か 講演: 高野真理子
(大学図書館支援機構)

課題: 調べ方マニュアル 指導: 寺尾隆氏

2014年度は最後に共同制作として「調べ方マニュアルデータ集」に取り組みます。

下記の『データ集』やレファ協調べ方マニュアルに登録済みのデータ等を参照し、各自テーマを決めてレファ協研修環境に調べ方マニュアルを1件登録してください。

締切: 12/3 (水)

【レファ協研修環境へのログイン方法】

◆研修環境 ログイン画面URL
(ID/PWは別途お知らせします)

<https://crd-test.ndl.go.jp/reference/user.php>

入力方法等は、『データ集』やヘルプを参照してください。

『レファレンス協同データベース事業調べ方マニュアルデータ集』

http://crd.ndl.go.jp/jp/library/documents/selected_reference_guides.pdf

◆入力項目の内管理番号は必須です。以下のように定型で記入してください。(全角15文字以内)

所属-氏名

3-1-3. 調べ方マニュアルの新規登録

<http://crd.ndl.go.jp/jp/help/crds/reg.html#chap3-1-3>

打ち上げ! 忘年会: 終了後に忘年会を企画してくださっています。OB,OGや今年お世話になった方々もお誘いしています。幹事のみなさん、ありがとうございます!!

RDAとは何か

さて、いよいよ最終回。どんなテーマにしようか考えた結果、皆さんに未来の夢と勇気をもって、これからの図書館を引っばって行っていただきたいと思い、RDAのお話をさせてもらうことにしました。RDAとは、ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、『英米目録規則』第2版(AACR2)の後継です。

目録規則の話かあ～、なぜRDAが図書館の未来の夢なの?と疑問だと思いますが、私なりに捉えるRDAの思想の真相(深層)を聞いていただければと考えています。そして、仲間と一緒に語り合ってみましょう。一般的に目録業務は最も定型化しやすく、日本の図書館界で一番早くに委託が進みました。従って、図書館の専任の人が世界の目録の動向に興味を持つことは稀になってきている面があるかも知れません。しかし、インターネットの世界に目を向けると、図書館の存在意義を担う、大変重要なポイントだろうと考えます。

今回会場をご提供くださる明治大学和泉図書館は「第30回日本図書館協会建築賞」を受賞された素晴らしい図書館です。研修分科会のプログラムとして見学をさせていただきます。

Time Table

第6回

13:00-14:45 共同制作

14:45-15:00 ティーブレイク

15:00-16:00 講演: RDAとは何か

16:00-16:10 事務連絡

16:10-17:00 明治大学図書館見学

会場案内

明治大学 和泉キャンパス 図書館1Fホール (図書館入口右手)

アクセスマップ http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/izumi/access.html

キャンパスマップ http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/izumi/campus.html

